

4月12日、長野県上松技術専門学校、令和5年度の入校式が執り行われました。



今年度は、木工科10名、木材造形科14名、計24名の訓練生が入校しました。



人数は少ないですが、今年度も新高卒の18歳から60歳を超えた方まで、幅広い年齢の訓練生が全国からこの上松へ集いました。



翌日は、オリエンテーション。校則等の説明があり、午後には校内外の案内を指導員が行いました。図書室は人気で、この日、早くもお目当ての本を借りる訓練生も。



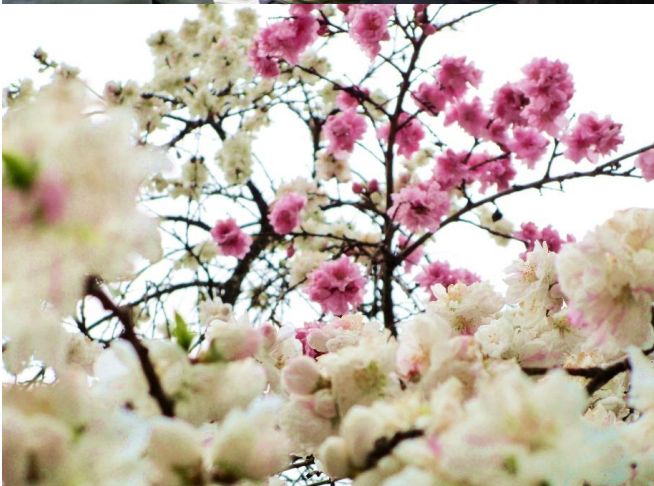
寒冷地ならではの不凍栓を説明する指導員。
冬は極寒になる上松。
訓練生の皆さんには、気候にも順応して1年間、健康に過ごしていただきたいです。



外はいいお天気で、後ろの方には雪をかぶった駒ヶ岳が見えます。
「ずっとここにいたいね～」と花桃を眺めながら、暖かな一日です。



そして、オリエンテーションの最後には、自己紹介があり、趣味や特技、経歴など各々自由に発表しました。今年度もユニークな訓練生たちのようです。これから切磋琢磨の日々が楽しみです。



来年の今頃は、それぞれ新たな道へ。
皆で見る上松の花桃は最初で最後ですね。
1年間、とても短く感じる事と思います。
木工技能と知識、そして木工の道を目指す者同士、交友を深めて充実した1年を過ごしましょう。